

■清巖正徹 禅僧。歌人。独自の幽玄体開拓し、中世和歌において際立った特質を持つ。

せいがんしょうてつ

了俊九州支配1381＝ 備中国に生まれる。父は小松康清。

土岐氏の乱・1390＝9歳：この頃、上洛して冷泉為尹に師事、
明德の乱・・・1391＝10歳：和歌を木の葉に書いて、七夕の星に手向ける。
南北朝合一・1392＝11歳：
・・・1393＝12歳：伏見院御所庭で大輪の菊を鑑賞。

義満出家・・・1395＝14歳：恩徳院の律師に連れられて歌会に参加。この頃か、幕府奉行治部方の月次会に出座し、冷泉為伊らと交わり、師の今川了俊と出会う。了俊、正徹を招いて石山に赴く。

応永の乱・・・1399＝18歳：
・・・1400＝19歳：*詠草を保存し始める。以後、晩年に至るまで歌壇で活躍し、二条・飛鳥井・冷泉の低迷した歌風に反発し、藤原定家への復帰を唱え、妖艶かつ幽玄な浪漫的歌風を開いて行く。

・・・1407＝26歳：東国へ単身旅行。

足利義満没・1408＝27歳：

・・・1410＝29歳：定家の奥書を書写。

・・・1414＝33歳：東福寺で出家、のち書記となる。

上杉禅秀の乱1416＝35歳：「正徹詠五十首」を詠む。
・・・1417＝36歳：
・・・1418＝37歳：*「なぐさめ草」を著す。
応永の外寇・1419＝38歳：今川範政家で「一夜百首」を詠む。
・・・1420＝39歳：「聖廟法楽詠百首和歌」を詠む。

馬借京乱入・1426＝45歳：

義教鑑引將軍1428＝47歳：

播磨国一揆・1429＝48歳：「聖廟法楽詠百首」を詠む。

・・・1431＝50歳：畠山持純家で「一日百首」を詠む。「徒然草」を書写する。
明賀易回復・1432＝51歳：畠山義忠の誂えにより、松囃子の詞章を書く。今熊野の草庵が焼け、2万数千首を失う。
・・・1433＝52歳：この頃、「招月正徹詠歌」成る。

・・・1435＝54歳：

・・・1437＝56歳：「正徹詠草」成る。
永享の乱・1438＝57歳：「祇園社法楽詠百首和歌」を詠む。

結城合戦・・・1440＝59歳：「住吉社法楽詠百首和歌」を詠む。「一滴集」を著す。「住吉社法楽詠百首和歌」を詠む。
嘉吉の乱・1441＝60歳：
・・・1442＝61歳：母が90で死去。

・・・1444＝63歳：

この間、「源氏物語」の研究も進め、

足利義政將軍1449＝68歳：「住吉社法楽詠百首和歌」を詠む。草庵で「諸神法楽百首」を詠む。この前後、「正徹物語」成る。
・・・1450＝69歳：細川勝元の歌道の師となる。
大和徳政一揆1451＝70歳：「侍春日社宝前詠百首和歌」を詠む。
・・・1452＝71歳：正広・正般・浄元と「湯山四人百首」を詠む。*將軍足利義政に召され「源氏物語」を講じる。
・・・1453＝72歳：「侍日吉社宝前詠百首和歌」を詠む。

・・・1456＝75歳：草庵領備中国小田庄の安堵されたことを祝して、人々と続歌を詠む。
堀越公方始・1457＝76歳：心敬らと「武家歌合」を催す。

寛正大飢饉始1459＝78歳：没した。
「草根集」。